

第1学年2組 美術科 学習指導案

日時 平成24年10月30日(火)
 場所 松江市立第三中学校 美術室
 指導者 教諭 宮崎 桃子

1. 題材名「阿修羅像の謎」～奈良・興福寺・阿修羅像～ 「B 鑑賞(1)」

2. 題材の目標

阿修羅像全体の雰囲気やその表情から感じられる心情などを想像する活動を通して、仏像やその背景となる仏教文化、および日本文化について関心をもち、美術文化の特性やよさに気づき、自分なりの考えをもって味わうことができる。

3. 題材設定の理由

中学校2年生で行われる修学旅行では奈良、京都方面を訪れることが多い。その訪れる先の寺や神社で日本の貴重な文化遺産を観る機会も多いが、生徒たちは興味を示さないことも多い。それは社会科の時間に習ったことのあるという言葉での記憶の中の建物や仏像などでしかないことが多いためと考えられる。しかし、たとえば仏像全体の雰囲気やその表情などから、また、作品を構成している要素から生じる感情や特徴からイメージなどをとらえるといった鑑賞の仕方を知ることによって、生徒たちの見方は大きく変化すると考える。

・・・<生徒観は個人情報のため省略>

本時は国宝「阿修羅像」(奈良・興福寺)を鑑賞する。「阿修羅像」は現在若男女問わず大変人気があり、生徒の中にも写真などで見たことがある者が多数おり、興味をもって取り組めるのではないかと考えた。「阿修羅像」のその魅力の一つは顔にあると言える。その顔をじっくりと鑑賞し、その表情を読み取らせることによって、「阿修羅像」の作者の思いや「阿修羅像」の造形的なよさや美しさに気づくことができると考えた。

本時では興福寺の「阿修羅像」の3つの顔に注目させて、その表情から感じとれる感情を考えていく活動を行う。そして、興福寺の「阿修羅像」と他の阿修羅像との違いを通して、興福寺の「阿修羅像」について深く考えていけるようにしたい。

また3つの顔、それぞれの微妙な違いを発見させ、そこからそれぞれの顔の「つぶやき」を想像させていきたい。その「つぶやき」を積極的に考えていくためにワークシートの3つの顔に吹き出しをつけ、そこに書き込めるようにした。そして自分で考えた「つぶやき」とグループの友だちの考えた「つぶやき」との共通点や相違点を感じ取らせることによって、それぞれの人の感じ取り方の違いに気づかせたい。これらの活動から今後の鑑賞活動の中でグループでの活動の楽しさ、特に他の人の考えを聞くことで自分の価値観の再認識ができることを感じとってほしい。

4. 学習に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
関① 阿修羅像の造形的な美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもって主体的に感じとり、仏像やその背景となる仏教文化、および日本文化について関心をもち、積極的に自分なりの答えを見つけようとしたり、感じたことを素直に言葉で表そうとする活動を通して主体的によさなどを感じとろうとしている。	鑑① 阿修羅像を鑑賞し、造形的なよさや美しさ、対象のイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫、主題と表現方法の選択や材料の生かし方などを感じとり、阿修羅像に込められた思いや、美術文化の特性やよさに気づきながら、自分の思いや考えをもって味わっている。

5. 本時の学習

(1) ねらい

- ・ 仏像全体の雰囲気やその表情から感じられる心情などを想像する活動を通して、仏像やその背景となる仏教文化、および日本文化について関心と自分なりの考えをもって味わうことができる。

(2) 展開

●学習のねらい ◆学習活動・予想される生徒の反応	教師の支援	評価【評価方法】
● 阿修羅像を見せ、この阿修羅像の顔からどんな感情が感じられるか考える。 ◆ 人の感情を表す言葉にはどんな言葉があるだろう?	○紙に書いて黒板に貼りだす。 ○生徒から出てきそうな言葉はあらかじめ	

- 楽しい • うれしい • 悲しい
- つらい • 苦しい • 喜び
- 憎しみ • 悩んでいる • 恨み
- など

◆ 阿修羅像を見せ、この阿修羅像の顔からどんな感情が感じられるか？

先ほど出た言葉だとどれに当てはまるか？

- 左の顔…悔しい、憎い
- 正面の顔…悲しい、憎い
- 右の顔…憎い、苦しい

● 阿修羅像を比較しながら鑑賞することで相違点や共通点などに気づく。

◆ 他の阿修羅像を見て、何が興福寺の阿修羅像と違うのか考える。

- 他の阿修羅像は怖い感じ。鬼のよう。
- 興福寺の阿修羅像は穏やかな感じ。

◆ ビデオで興福寺の阿修羅像を見る。

● 阿修羅像の特徴や表現の工夫を知識も活用して深く味わう。

◆ 阿修羅像の3つの顔をよく見て、それぞれの顔が何をつぶやいているか、その理由も考える。グループの中でも話し合ってみる。

- どうしたらいいだろう。
(眉間にしわを寄せているから)
- 悔しい。(唇をかんでいるから)
- ああ、どうしてこうなんだろう。(眉から)
- 戦いに勝つぞ。(目が勇ましそう)
- がんばらなくては。(目と眉から)

◆ 阿修羅像について思ったこと、感想を書いて、発表する。

書いておく。

○実物大の阿修羅像の写真を掲示する。

○生徒一人ひとりに阿修羅像の3つの顔のプリントを配る。

○阿修羅は古代インドの戦いの神であることは伝える。

○どうして他の阿修羅像とこんなにも印象が違うのかを考えさせる。

○はっきりとした答えは求めない。さらっと流す。

○360度から阿修羅像を見る。

○まずは各自でワークシートの吹き出しの中につぶやきを書かせてみる。その後でグループで考えさせる。

○なぜそう思ったのか理由も考えさせる。

○何人が発表させる。

○3つの顔はそれぞれ少しずつ違う印象をもっていることを、生徒から出た意見からおさえる。

○「3つの顔を見て感じることはないか」も聞いてみる。

(たとえば、だんだん穏やかになっている、など)

○一人の人間の心の成長を表していると言われることを感じさせる。

○阿修羅像の魅力についても考えるように伝える。

○何人かに発表させる。

○自分の素直な感想を書くように言う。

関①

阿修羅像について本時に感じたことを素直に言葉で表そうとしている。【観察・ワークシート】

鑑①

本時の学習から阿修羅像に込められた思いを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。【ワークシート・発表】

6. 本時の評価規準

	十分満足できると判断される 生徒の具体例	おおむね満足できると判断される 生徒の具体例	支援を要すると判断される 生徒への手立て
美術への関心・ 意欲・態度	阿修羅像の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図を目を向け、積極的に考えて自分の考えをもつなど、主体的に感じようとしている。	阿修羅像についての自分の気づきを伝えたり、友だちの意見を聞くなどして、主体的に感じようとしている。	友だちの意見を手がかりに、阿修羅像のどの部分から感じたかなどの視点を与えながら、もう一度阿修羅像を見つめるように促す。
鑑賞の能力	根拠を明らかにしながら自分の考えを伝えたり、友だちの意見も聞いたりしながら、表現の意図や特徴をとらえ、作者の想いに迫ろうとしている。	自分の感じたことや、友だちの意見を聞く活動を通して、阿修羅像の造形的な美しさやよさを感じるとともに、作者の想いに迫ろうとしている。	本時の活動の中で阿修羅像について自分で感じたことや友だちの意見などから作者の想いに迫るようにする。